

西之表市農業振興公社
営農大学校入校式



▲中央が中村貴広さん

「6月11日」西之表市農業振興公社において、種子島営農大学校第8期生入校式が開催されました。第8期生となる中村貴広さんは、花卉を就農品目に選択しています。が、入校を期に花卉以外の品目も学習したいとのこと。就農のきっかけは、奥さんの「島で子供を育てたい。」との言葉で島に帰ることを決意し、父に勧められて農業に興味を持つたとのこと。式では、脇田峰生学校長が「熱意・目標を持って進んでいってください。」と挨拶し、中村貴広さんは、緊張した面持ちで、入校生宣誓を行いました。

出荷最盛期
屋久島
パッションフルーツ



▲出荷の最盛期を迎えています

「6月4日」屋久島パッションフルーツが出荷の最盛期を迎えています。今年は、味・色付きともに良く、収量14tを見込んでおり、7月には、島外での試食宣伝販売を計画し、商品紹介や食べ方など知名度向上に取り組みます。8月いっぱいの出荷となり、主に関東方面への販売と、JA直販の「ふるさと便」でも取り扱っておりま。また、地元では、ぽんたん館、Aコープ3店舗でも販売しています。

第44回中種子町
きび甘諸振興会総代会



▲挨拶をする梶屋良幸会長

「6月25日」JA種子屋久本所において、第44回中種子町きび甘諸振興会総代会が開催され、生産者・関係機関合わせ約100人が出席しました。梶屋良幸会長が「昨年は厳しい年でありました。低単収の要因は気象災害もありますが、栽培管理・品種の見直し等の課題を洗い直す必要があります。」と挨拶しました。

各部門ごとの表彰の後、鎌田昭一さんを議長に平成29年度事業報告や平成30年度活動計画などが協議され、経営安定・生産維持拡大に努めていくことを参加者全員で確認しました。役員改選もあり、引き続き梶

屋良幸さんが会長に決まりました。協議終了後は、農畜産業振興機構の岸本真三市氏を講師に「一品目別経営安定対策における平成31年度に改正される注意点について」の研修会や島外視察研修報告が行われました。



▲きび多量出荷の部で表彰を受ける黒木秀樹さん



▲会場の様子